

## やがて来る甦り

ホープ・チャペル所沢

第一コリント人への手紙 15:12-58

「もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。」(第一コリント15:19-20、新改訳)

### 序文

使徒たちの6つの基礎的な教えである「死んだ行ないからの回心、神に対する信仰、きよめの洗いについての教え、手を置く儀式、死者の復活、とこしえのさばき」(ヘブル6:1-2参考)の中で最も論争的なものは「死者の復活」です。パウロが書いたように、もしキリストが甦られなかったならば、私たちの信仰は無に等しいものです。しかし、キリストが甦られたため、私たちの信仰はこの上なく価値あるものとなり、やがて永遠のいのちを得させるのです。

### 1. アダムとキリストとの比較。 (12-28節)

ア) この地上の命をアダムから受け継いだ様に、永遠の命をキリストから受け継ぐのです。

イ) キリストは、ご自身を信じる人々のために、死の力をも滅ぼして下さいます。

### 2. パウロが語っている「死者のゆえにバプテスマを…」の意味は何ですか。 (29-34節)

ア) 「死者のゆえにバプテスマを受ける」とは殉教を達成した弟子たちを意味しました。

イ) 「死者のゆえにバプテスマを受ける」とは、救いを得させる悔い改めを指すものではありませんでした。(ヘブル人への手紙9:27-28参考)

### 3. この復活のゆえに、キリストにある私たちの労苦は無駄ではありません。 (35-58節)

ア) 私たちがいるこの宇宙には、気体・液体・固体による物体があります。

イ) 私たちの肉体は弱く、朽ちるものですが、復活し、強く不滅なものとされます。

### 結論

イエス様が唯一私たちに責任を負わせる私たちの魂の敵とは、私たち自身です。ですからパウロは「堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主においてむだでないことを知っているのですから」(58節 新改訳)と書いているのです。

### 私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために

1. 12-27節を読みましょう。なぜ、そしてどうして甦りに対する信仰が重要なのでしょうか。
2. 29節に書かれている「死者のゆえにバプテスマを受ける」の意味は何ですか。
3. 35-58節のパウロの説明を、それぞれ自分の言葉で説明してみましょう。